



第1回滋賀県史のあり方検討懇話会の開催について

第1回滋賀県史のあり方検討懇話会を、下記のとおり開催いたします。

背景・目的

令和4年(2022年)9月29日に、本県が誕生して150年の節目を迎えることから、県では、滋賀県政150周年記念事業の一環として、新たな滋賀県史の編さんに取り組みます。

新たな滋賀県史編さんは、以下の2点を目的としています。

- ① 歴史に学び、誇りと愛着を育み、未来を考える契機とする
- ② 貴重な関連資料の収集・保管・散逸防止を図る

今年度は、どのような県史を編さんするか、県の編さん方針(滋賀県史編さん大綱)をまず策定する予定です。その策定にあたって、有識者をはじめとする12名の委員で構成される「滋賀県史のあり方検討懇話会」を設け、編さんの趣旨、対象とする年代、県史の構成、編さんの期間および組織、県民参加の方法等を議論していただきます。

内容

第1回滋賀県史のあり方検討懇話会

- 日 時 令和4年(2022年)5月31日(火)午後2時より
場 所 滋賀県大津合同庁舎3-A会議室
議 題 ①県史編さんの意義、目的
②県史が対象とする年代
③県史の構成 等

※会議は全部公開で行います。

(傍聴者の定員は10名とします。傍聴を希望される場合は、あらかじめ上記連絡先までご連絡の上、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じてご参加願います。)

今後の予定

- | | |
|-----------|------------------|
| 令和4年7月中旬頃 | 第2回滋賀県史のあり方検討懇話会 |
| 9月上旬頃 | 第3回滋賀県史のあり方検討懇話会 |
| 10月中旬頃 | 第4回滋賀県史のあり方検討懇話会 |
| 11月頃 | 県民政策コメントの実施 |
| 令和5年2月頃 | 「滋賀県史編さん大綱」の策定 |

滋賀県史のあり方検討懇話会委員

氏名	役職等
伊藤之雄	京都大学名誉教授
上田和子	滋賀県農業協同組合中央会女性協議会会長
香川雄一	滋賀県立大学環境科学部教授
加藤幸江	(公募委員)
川村美津子	認定特定非営利活動法人つどい理事長
久保田真也	株式会社滋賀銀行代表取締役専務
小林丈広	同志社大学文学部教授
坂根嘉弘	広島修道大学商学部教授
田中智子	京都大学大学院教育学研究科教授
松田規久子	株式会社京都新聞社編集局文化部長
森裕城	同志社大学法学部教授
森靖夫	同志社大学法学部教授

(敬称略、50音順)